

【訂正】下記のとおり訂正しました(2014年5月28日)

(誤)「(7)資本金 1.18 億トルコリラ(約 59 億円(概算))」
⇒(正)「(7)資本金 0.5 億トルコリラ(約 25 億円(概算))」

2013年10月31日

トルコおよび周辺市場における電設資材事業を本格展開

トルコ配線器具トップメーカー「ヴィコ社」に関する 株式売買契約の締結

パナソニック株式会社(以下、パナソニック)は、トルコ共和国の配線器具トップメーカー Viko Elektrik ve Elektronik Endüstrisi Sanayi ve Ticaret Anonim Şirketi (本社:トルコ共和国イスタンブール市、会長:Cahit Durmaz、以下、ヴィコ社)の現オーナーの Cahit Durmaz 氏、Ali Dağbaşı 氏らと、本日、株式売買契約を締結しました。2013 年度中にヴィコ社の発行済株式の 90%を取得する予定です。

当社は、本件により、中長期的な成長が期待されるトルコ市場やその周辺国において配線器具、低電圧電路機器、ビル・オートメーション・システム、スマートメータなどの電設資材事業の本格展開を図っていきます。

1. 本件のねらい

当社は 2018 年 住宅関連事業 2 兆円の達成に向けた成長戦略の中で、電設資材事業においては、東南アジア・インドに加え、中東・CIS・アフリカ地域を重要市場と位置付けています。特に、日本市場で高いシェアを有している配線器具事業は、その強みを生かして、台湾やタイ、フィリピンなどのアジア地域に事業を展開し、近年では、インドのアンカーエレクトリカルズ(株)を買収するなど、東南アジアからインドへと事業を拡大してきました。一方で、配線器具は、国・地域ごとに規格・仕様が異なっており、トルコやその周辺地域では、「C タイプ」と呼ばれる配線器具が使用されています。本件により、ヴィコ社が保有する強固なブランド力、販売チャネル、「C タイプ」の配線器具の商品や技術などの経営資源を活用することで、トルコ国内だけでなく、同国を拠点として、中東や CIS、アフリカ市場などへ配線器具に加え、照明器具や換気扇などの電設資材の販売拡大が期待できます。さらに、当社の商品力や開発力を活用した新製品の投入、ものづくりノウハウ供与による生産性の改善など、シナジーを最大限に発揮し、一層の事業拡大を図っていきます。

2. 本件の内容

- ・パナソニックは、全額自己資金を充当し、ヴィコ社の発行済株式の 90%を取得予定
(取得額:約 460 百万米ドル、日本円換算:約 460 億円(概算))
※取得額はクロージング後に正式決定する

3. 本件による今後の展開

- ・ヴィコ社の現オーナーは 10%相当の株式を継続保有し、同社の取締役としてパナソニックとの共同経営に参画
- ・当面、ヴィコ社の社名は現行のままとし、同社のブランドを継続使用

4. ヴィコ社の概要

- (1)社名 VİKO ELEKTRİK VE ELEKTRONİK ENDÜSTRİSİ SANAYİ VE TİCARET ANONİM ŞİRKETİ
- (2)本社所在地 トルコ共和国 イスタンブール市
- (3)代表者 会長 Cahit Durmaz、副会長 Ali Dağbaşı
- (4)設立 1966 年
- (5)事業内容 配線器具、低電圧電路機器、スマートメータ、ビル・オートメーション・システムなど電設資材の製造および販売
- (6)従業員数 約 720 名
- (7)資本金 0.5 億トルコリラ(約 25 億円(概算))(2012 年 12 月末現在)
- (8)総資産 2.48 億トルコリラ(約 124 億円(概算))(2012 年 12 月末現在)
- (9)売上高 2.65 億トルコリラ(約 133 億円(概算))(2012 年 12 月期)
3.05 億トルコリラ(約 150 億円(概算))(2013 年 12 月期見通し)

【お問い合わせ先】

パナソニック株式会社 ブランドコミュニケーション本部 広報グループ

電話:03-3574-5661(東京)／06-6908-0447(大阪)